

NHK、「サンダンス映画祭・ノミネート支援」 初トライで選出決定！

NHKと米・サンダンス・インスティテュートは、今年度から共同で、新しく「サンダンス映画祭・ノミネート支援プロジェクト」を開始しました。ハリウッドメジャーを始め世界中から多くの配給業者、映画関係者が、世界中の優れた才能を発掘しようと集まるサンダンス映画祭。その大舞台を通して、日本の優れたコンテンツを世界に向けて発信していこうとするNHKの新しい試みです。

NHKは応募があった日本のインディーズ映画の中から、特に優れた8作品を選定し、サンダンスの審査部門に推薦。その中から「アブラクサスの祭」が激戦を通過して、サンダンス映画祭 ワールド・シネマ・ドラマティック・コンペティションに選出されました。同コンペティションは、アメリカ以外で制作された長編劇映画を対象にした部門で、今年は1073本の応募があり14本の作品が選ばれました。「アブラクサスの祭」は、2011年1月末に米国・ユタ州で開催されるサンダンス映画祭の正式招待作品になります。

※「アブラクサスの祭」 (2010年・日本映画・113分・「アブラクサスの祭」パートナーズ)

監督:加藤 直輝 出演:スネオヘアー ともさかりえ 本上まなみ 小林 薫 ほか

<作品概要>

悩めるお坊さんが生きるヒントを教えてくれる。かつてロックミュージシャンだった僧侶・浄念。音楽に向き合うことで懸命に生き抜こうとする浄念の再生と彼を支えながら癒されていく周囲の人々を描いた愛おしい物語。

※「サンダンス映画祭 ワールド・シネマ・ドラマティック・コンペティション」が開設された2005年以降に参加した日本人監督の作品は、次の3本のみ。2005年「トニー滝谷」、2008年「めがね」、2009年「クローンは故郷をめざす」(同作品は、2006年のサンダンス・NHK国際映像作家賞の日本部門受賞作)

※サンダンス・インスティテュート

1981年に俳優・監督のロバート・レッドフォードによって創設された映画人養成のための非営利団体。毎年1月に米国ユタ州パークシティで開催される「サンダンス映画祭」はインディペンデント系映画最大の祭典として世界的注目を集めている。NHKは1996年からサンダンス・インスティテュートと共同で才能ある若い映像作家を世界中から発掘・支援する「サンダンス・NHK国際映像作家賞」を実施し、北米・南米・欧州、日本の優れた脚本に同賞を授与してきた。(過去の同賞受賞作:「セントラル・ステーション」(ウォルター・サレス)、「彼女を見ればわかること」(ロドリゴ・ガルシア)など。)今回から「サンダンス・インスティテュート/NHK賞」に変更。4地区制を廃して、世界の中から最優秀脚本に同賞を与えるとともに、同映画祭・ノミネート支援プロジェクトを開始した。

NHKサンダンス事務局: <http://www.nhk.or.jp/sun-asia/>